



防衛省東北防衛局広報紙

東北のかなめ

vol.56 (2022.3)

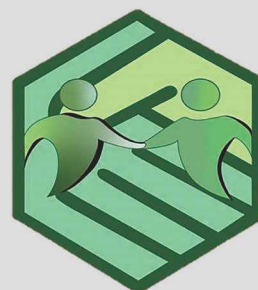


国の天然記念物 三春滝ザクラ

写真提供：福島県三春町

【CONTENTS】

- ✓ 米軍再編に係る訓練を支援
- ✓ トピックス
 - ・ 若手職員対象の現地研修及び緊急事態等対処演習
 - ・ 大臣感謝状伝達
 - ・ 令和3年度事態対処訓練の実施
- ✓ ようこそわが街へ（第26回）～福島県三春町～
- ✓ 防衛関連企業シリーズ⑨：青木安全靴製造株式会社
- ✓ インフォメーション



米軍再編に係る訓練を支援

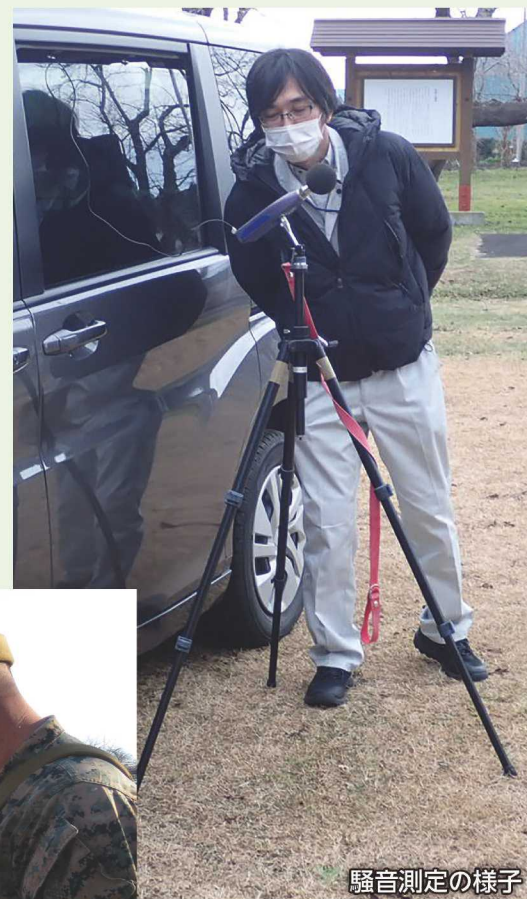
陸上自衛隊と米海兵隊による日米共同訓練（通称：レゾリュート・ドラゴン21）が令和3年12月4日から同月17日まで、王城寺原演習場（宮城県）、岩手山演習場（岩手県）、八戸演習場（青森県）等で行われました。

この訓練は、陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互の連携要領について実際に訓練を行い、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図ることを目的としています。

また、今回の訓練は米軍再編に係る移転訓練として実施されたものでもあり、日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、普天間飛行場に所在するティルト・ローター機等の訓練活動を本訓練に組み込んで実施されました。



王城寺原演習場に飛来したMV-22



騒音測定の様子



米軍との調整の様子

東北防衛局は、11月21日から12月23日までの間、周辺住民の安心・安全の確保と不安の解消のため、王城寺原演習場内に「現地連絡本部」を設置し、三沢防衛事務所内、岩手山演習場内等に延べ約50人の職員を派遣し、関係自治体への情報提供及び騒音測定等を行いました。

本訓練は、複数の演習場等を使用して行われた大規模な訓練となりましたが、東北防衛局は陸上自衛隊や米海兵隊と連携し、関係自治体に対して速やかに情報提供を行い、住民の方々の不安の解消に努めました。

若手職員対象の現地研修及び緊急事態等対処演習

東北防衛局は、若手職員を対象に自衛隊・米軍施設を学ぶ現地研修と大規模自然災害等における緊急事態等対処演習を行いました。

～ 現地研修 令和3年11月から令和4年2月 ～

各自衛隊・米軍の任務や装備品について更に理解を深めることを目的として、現地で装備品等を見学し、また、その自衛隊施設等に関連する東北防衛局の業務を事前学習し業務説明として発表しました。



業務説明の様子



装備品の見学

【若手職員 の感想】

コロナ禍ということもあり、出張等リモートで行われることが多く駐屯地等へ赴く機会が減っていたので、当該研修は大変有意義なものだった。特に施設、装備品等について理解を深めたことは今後の業務に役立つと思う。

～ 緊急事態等対処演習 令和3年12月 ～

本演習は、大規模自然災害等発生時における危機管理及び応急復旧等の技術支援対応能力の向上を図ることを目的に実施しました。



建物内への浸水防止のため
遮水壁を土のうで構築



斜面の崩落防止のため
ブルーシートで養生



被災した埋設管路の掘削

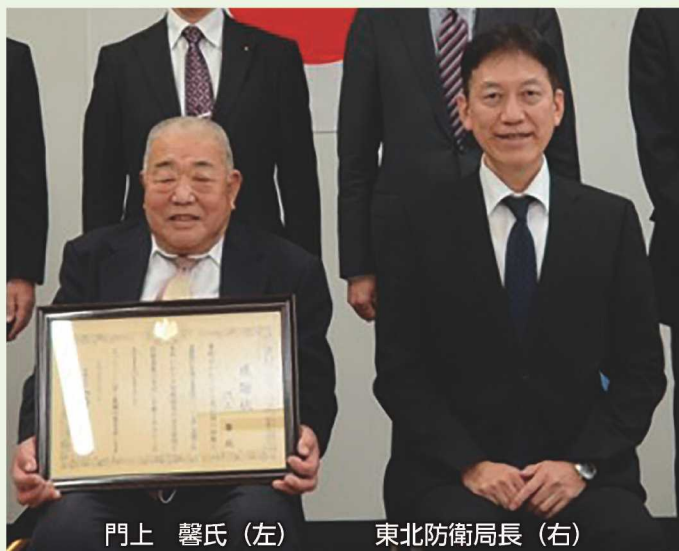
【若手職員 の感想】

今回の演習で改めて災害に対処することの難しさを知った。今後、災害が起き現地支援を行う際には、この経験を生かし臨機応変に対応できるようにしたい。

防衛大臣感謝状伝達

令和3年12月15日、令和3年度の自衛隊記念日にあたり、元三沢市漁業協同組合代表理事組合長の門上馨氏、小川原湖漁業協同組合代表理事組合長の濱田正隆氏に対し、東北防衛局長から防衛大臣感謝状を伝達しました。

防衛大臣感謝状は、自衛隊に協力し又は自衛隊を援助して、その功労が著しいと認められる方に対し贈呈されます。



門上 馨氏 (左)

東北防衛局長 (右)



東北防衛局長 (左)

濱田 正隆氏 (右)

両氏はともに組合長就任以来、国防の重要性を深く認識し、当省の業務に対して深い理解を示されるとともに、門上氏は、三沢対地射爆撃場水域の漁業権行使制限に係る更新の際、また、濱田氏は、三沢飛行場水域の漁業権行使制限に係る更新の際に関係機関との調整を積極的に行い、当該水域の速やかな更新に尽力されるなどの功績により、令和3年度防衛大臣感謝状を受賞されました。

例年、自衛隊記念日の記念行事の一環として、防衛大臣感謝状の贈呈式が東京都内で実施されていますが、今年度については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、贈呈式は中止となったため、東北防衛局長から伝達したものです。

インフォメーション

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設**その**周辺地域**(周囲約300m)の上空における**ドローン**等の飛行は、**原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

対象防衛関係施設および飛行をさせたい場合の手続きの詳細については、防衛省HPをご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



○お問い合わせ先:東北防衛局 地方調整課 022-297-8212
 三沢防衛事務所 0176-53-3118
 E-mail: drone-th@tohoku.rdb.mod.go.jp (共通)

周辺財産の個人・企業等に対する有償使用許可のご案内

三沢・八戸・松島の各飛行場周辺、三沢対地射爆撃場周辺及び王城寺原演習場周辺に「周辺財産」(移転補償跡地)と呼ばれる国有地があります。

当局では、土地の有効活用を図る観点から、周辺財産(移転補償跡地)の行政目的を妨げない範囲で、**個人、企業等**に対しても、一定の条件の下、有償での使用許可を行うこととしています。

○お問い合わせ先

東北防衛局 企画部 施設管理課緑化対策係
 電話:022-297-8213



○こちらから関連ページへアクセスできます↑

令和3年度事態対処訓練（大規模地震）の実施

令和4年2月25日、東北防衛局の事態対処能力の向上と職員の意識の向上を図ることを目的として、大規模地震発生時の初動対応について訓練を実施しました。

訓練は、東日本大震災当時の活動をシナリオに盛り込んだ安否確認訓練、呼集訓練により参集した職員による対策本部運営訓練等を行いました。



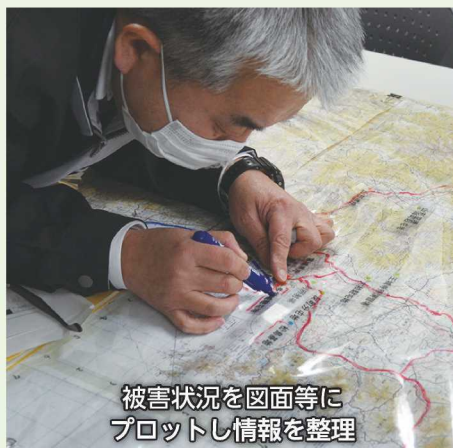
対策本部設営訓練



対策本部会議を開催



連絡員を関係機関へ
派遣する訓練



被害状況を図面等に
プロットし情報を整理



コロナ対策も実施
(検温中)

在日米軍従業員募集

インフォメーション

日本の「アメリカ」で働きませんか！

「エルモ」が応援！あなたの就活！

<https://WWW.lmo.go.jp>

LMO



求人情報



求人情報提供
メールサービス

【Twitter 開設】

令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信いたします。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名「在日米軍従業員求人情報（エルモ）」

【青森県の求人に関するお問合せ先】

エルモ 三沢支部 管理課 管理係

住 所：青森県三沢市平畑1-1-25

電 話：0176-53-4165

担当施設：三沢飛行場、八戸貯油施設、車力通信所

千年の刻を未来へ紡ぐ

みはるまち
桜と歴史と文化の城下町
福島県 三春町

三春滝ザクラは、大正11年（1922）に桜の木として初めて国の天然記念物に指定され、令和4年をもって100周年を迎えます。





三春滝ザクラ PROFILE

樹種／エドヒガン系ベニシダレザクラ
 大きさ／高さ 13.5m 根回り 11.3m
 樹齢／1000年以上

開花期には四方に伸びた枝から、薄紅色の小さな花を咲かせ、その様はまさに流れ落ちる滝のように見えることから「滝桜」と呼ばれるようになったとも言われています。

ドローンによる空撮映像 

三春滝ザクラ

三春滝ザクラは、日本三大桜のひとつに数えられ、樹齢千年を超える巨木に可憐な花が咲き誇る様は、見るものを圧倒する美しさがあります。春のライトアップや季節によって様々な姿を見せてくれる「三春滝ザクラ」をぜひ、お楽しみください。



滝ザクラ、街なか観光の記念に…



御城印（ごじょういん）
 三春城の御城印の頒布を行っています。季節に応じたデザインもあります。街なか観光の記念にどうぞ。



滝桜印（ごおういん）
 三春滝ザクラの開花時期限定で令和2年から全国初となる御桜印という名称で頒布を行っています。滝ザクラ観桜の記念にいかがですか。

三春城と愛姫

三春町は中世以降、城下町として栄え神社・仏閣などの歴史的建造物が多いのが特徴です。三春城跡は舞鶴城跡とも呼ばれ、石垣が残る程度ですが、2017年4月には続百名城に選定されています。三春城主田村清顕の娘「愛姫」は、伊達政宗の正室であり、戦国の世に独眼竜で名を馳せた政宗の生涯を支えたと言われています。



愛姫 PR アニメーション
愛姫 MEGOHIME



愛姫のキャラクターは、愛姫生誕450年に新世紀エヴァンゲリオン等の漫画で知られる貞本義行氏とアラキマリ氏にデザインいただいています。

愛姫
キャラクターデザイン
貞本義行 × アラキマリ



三春駒



三春駒の黒は子宝・安産・子育てのお守りとして、白は、老後安泰・長寿のお守りとして親しまれています。町のマスコットキャラクター「こまりん」も三春駒がモチーフです。



ぬいぐるみの「しろまる（左）」・「くろすけ（右）」も人気です。

青木安全靴製造株式会社は、山形県河北町に所在し、昭和30年創業、社員数約40名の会社です。今回は、「本物の安全靴、未来へとつながる靴」を目指し、製造を行っている青木直哉常務取締役、佐藤英喜工場長にお話を伺いました。

Q1: どのような靴を製造しているのですか。

A1: 一般作業用の安全靴、耐水・耐油・耐薬品作業用の安全靴などを製造しています。

自衛隊向けでは、制服用の革靴、戦車乗員等用の靴、スキー靴との兼用になっている防寒靴などを納品しています。

Q2: 色々な新しい技術も研究・開発されているとお聞きしましたが、どのようなものがありますか。

A2: 産業廃棄物の「米ぬか」をゴムに練り込み靴底に使用することで表面がすり減っても耐滑性能は変わらない素材の開発を産官学で一緒に完成させました。

この技術は、航空自衛隊用の靴にも使用されています。

また、特性の違うゴム2種を2層構造で組み合わせることにより、軽さと丈夫さを同時に持つソールも完成させました。

自衛隊向けの靴では、開発に役立てるために、実際に駐屯地等に伺って装備品を見学・体験もしています。

Q3: 工場を見せていただきましたが、それぞれの工程で「人の手」が多く関わっていたように見えたが。

A3: 製造工程には、勿論、機械も使用しますが、革は、1つ1つに個体差があり、伸びやすい・伸びにくいがあります。また、大気中の水分を吸収するので湿度にも影響されます。

その革の個性や作業環境を見極め、社員の経験や技を活かし、機械の微妙な調整をしています。



青木常務取締役



佐藤工場長



工場内の様子



製造の様子



製造の様子

「民間向けでは、品質は維持したままデザインをスニーカータイプにした安全靴や新しいカラーも取り入れ、安全靴のイメージを一新するようなことにも挑戦しています。」ともお話をいただきました。



インパクトのある
ツートンカラー

HPより抜粋

東北防衛局職員採用案内 2023年4月新規採用

東北防衛局では、2022年度国家公務員採用一般職試験の最終合格者から職員（事務官・技官）の採用を行います。職員は、様々な業務を行い、自衛隊・在日米軍の活動を支え、地域住民の方々と架け橋となっています。幅広い視野と積極性を持ち、粘り強く課題に取り組める人材を求めています。

業務説明会や官庁訪問を実施し、具体的な業務内容のほか、やりがいや醍醐味なども職員から直接お伝えします。興味・関心のある方は、是非ご参加ください。

事務官（行政・事務職）

【試験区分：行政、事務】

【主な業務内容】

防衛政策への理解と協力を得るための施策（広報、防衛セミナー、日米交流事業等）や防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策（民生安定施設の整備、障害防止工事、住宅音事業等）等



技官（技術職）

【試験区分：電気・電子・情報、機械、土木、建築、技術】

【主な業務内容】

自衛隊や在日米軍の活動基盤となる防衛施設（飛行場、港湾施設、レーダー施設、体育館、隊舎など）の建築・土木・機械・電気通信設備工事の設計・監督等



採用までの流れ 2022 年度一般職試験（大卒程度試験）



東北防衛局
採用情報は
こちらから



【お問い合わせ先】 防衛省 東北防衛局 総務部総務課人事係 TEL:022-297-8209 内線3126

編集後記

表紙の写真は、福島県三春町から提供いただいた国の天然記念物「三春滝ザクラ」です。今年は、桜の木として初めて天然記念物に指定されてから100周年とのこと。皆様のお手元にこの広報紙が届く頃は、ちょうど見頃でしょうか・・・春を感じに出かけてみてはいかがでしょうか。

「御桜印」もいただけるそうですよ。

